

南無阿弥陀仏は
私のいのち



〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19
発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺
TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796
<http://saitokuji.tobihiro.jp/>
発行人 岸本 秀一
印刷 日生印刷(株) 03-6863-3263



型破りの伝統

昨年、中村勘三郎丈が逝去された。一八代目勘三郎丈の歌舞伎は「新風」や「斬新」というイメージが強かったが、とあるインタビューの中で、「私は型破りであって、形無しではない」という言葉が焼き付いた。

先達から形を叩き込まれ、学び尽くさんと試行錯誤する中で超えるものに出遇ったのが「型破り」ではないだろうか。

今日、先達に伝統を学ぶということが希薄になつていく時代。挨拶すらもままならない程、無闇な個人尊重を叫び、結果的には悩みや喜びが個人的になつていく。また一面では、伝統を骨董品の如くもてはやし、ただ維持することに始終する。

自分勝手な形無しも、ただ維持するだけの型にはまることも孤立と閉塞の一途ではないか。

お念仏は、時代や場所を超えて生きる意義を見出してきた伝統、歴史と教えられている。変わりゆく時代の中で、変わらない課題が明らかになるかが問われている。「最近の若い奴は…」「時代遅れ」と言い合っている毎日では虚しすぎる。

「親鸞一人がためなりけり」。学び続ける中で、「自分の身に於いて証明せよ」という声を聞いた力強い言葉ではないか。その時、伝統の最先端に立つ力が与えられる。「型破り」という言葉に通じるものを感じずにはいられない。

これしかない

台東区在住 二木 秀利さん



今回は台東区竜泉でステーキハウス「ツインツリー」を営んでいる二木秀利さんにお話を伺いました。

◆空しかった

高校時代、何をやっても満たされず、好きなバイクに乗りたいたいという理由もあって、昼夜を問わずアルバイトに明け暮れていました。不規則な生活を送っていたために授業には身が入りませんでした。このままでは駄目になってしまおうと思い、自らを正すつもりで卒業後は自衛隊に入隊することを決意しました。しかし、両親の猛烈な反対に押し切られ、親戚の勧めもあって「服部栄養専門学校」に入学しました。卒業後、銀座の洋食店に就職しましたが、人間関係のもつれが原因となり、わずか二年で辞めてしまったんです。

◆母親の姿に

当時、バブルの真っ只中というところもあって、企業の景気がとてもよかったです。元々、工業高校を卒業したということもあり、運よく鉄鋼関係の会社へ再就職が決まりました。ところが、料理人としてのこだわりがあったのかはわかりませんが、その会社へは入社せず、

条件がよかったこともあり都内に五十店舗を構えるステーキハウスのチェーン店に勤め始めました。自分でも不思議なんですが、幼少のころから母親が義理の姉と一緒に定食屋を営んでいる姿を見て育ったことや、高校時代のアルバイトが飲食関係だったことも影響しているのでしょうか、どうしても違いう世界へ飛び込むことができませんでした。

◆独立して思うこと

約十年間勤めた中で、社長から調理面だけでなくマネジメントのノウハウもたたき込まれ、スーパーバイザー（現場責任者）として商品管理の仕事も任されるまでになりました。その間に培われた経験をもとに、これまで陰日向となつて支えてくれた両親の協力の甲斐あって、今は独立して自分の店を持つことができました。あらためて思い返してみると、父親が放任主義だったおかげもあって僕自身、様々なことに迷いながらこの仕事に就くことができました。紆余曲折の人生でしたが、結局、僕にはこれしかないんだと、最近になってしみじみと感じますし、充実感を持てるようになったんです。

（聞き手 木村 専正）

なんで？ 「お斎」

一般的に仏教の法要の後の食事を「お斎」といいます。斎とは、神道等では一定期間飲食等を慎み、身を清め、祭事に臨むこととされ、仏教では法要の後にいただく食事のことです。

なぜ斎というのかというと、八斎戒という原始仏教の戒律からきています。その戒の中の、正午以降に食事をしないという戒に関わっているようです。後にこの部分が斎戒を行わず、食事を取るという意味に変わっていき、法事の後の食事となっているのです。ちなみに正午以降に出す食事を地域によっては非時、非時食と呼ぶこともあります。

私たちは普段当たり前のように食事していますが、実は様々なのちをいただいで生かされているのです。そのことを確かめる意味で食事の前に合掌し、「いただきます」という言葉を昔から言ってきたのではないのでしょうか。



（仲井 真裕 記）

親鸞聖人は、釈尊の教え(『大無量寿経』『阿弥陀経』)をただかかれて、

時代を「五濁悪時」(五つの濁りのある悪い時代)と受けとめられました。

だから、五濁は釈尊の時代も聖人の時代もあった世相です。五濁とは、よ

ごれて真実が見えなくなる状態のことで、『阿弥陀経』に「劫濁・見濁・煩惱濁・衆生濁・命濁」と説かれる

五つの濁りです。この濁りは、歴史社会と人の間に生きながら、間を忘れて、自分中心に生きようとするところに起こりますから、いつの時代も五濁になり悪世なのです。

「劫濁」の「劫」は、「時代」のことですから、「劫濁」は、「時代の汚れ」のことです。人間に移る病原菌が見つかったら、わたしたちの命になった、牛や豚を何十万頭と殺す、鶏も何十万羽も殺して土に埋める。そして、世界では、テロや争いがどこかでおきている。また、安全だと思っていた事柄が、突然不安状態に陥り、恐怖にまでなるような時代は、劫濁といっているのです。

「見濁」の「見」は、「見解」のことですから、私たちの考え方や思想の濁りのことです。それは、自分の意見を

正当化し、他人を、自分の都合で、いい人・悪い人とみていくことをいうのでしよう。お正月の川柳に、「お年玉 だけは受け取る 反抗期」「お年玉 もらった途端に 帰る孫」

したちの生活です。

「煩惱濁」は、煩惱による汚れということです。欲望や憎しみ、そして何でも見知っているつもりで、自身を濁して「我が家では 暖かいのは 便座だけ」と思い、「長生きを 嘆くかなれぬ 人もいる」と、愚痴の状態にしていくことではよう。



松井憲一
正信偈の話(16)
五濁悪時群生海 応信如来如実言
(五濁悪時の群生海、如来如実の言を信ずべし。)

「衆生濁」は、衆生の汚れのことです。だから、まごころを失い、自分が榮えることだけを考へて、身も心もともに、不健康になることではよう。心身が不健康になると、「あのケチが カニ缶持ってきた不吉」と、

それは自分や他人の生命が軽んじられることで、寿命が短くなるというよりも、精神の豊かさがなくなっていくことを意味しているのです。ここ十数年、三万人を超える自死する人の多さや、大腸菌の細胞一つ作れない人間が人命よりも経済を優先して原発の再稼働をすることなどが、思い合わされず。

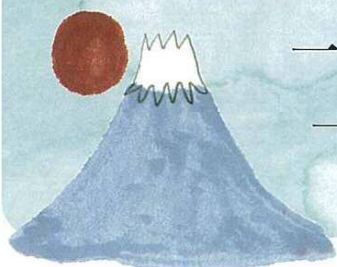
五つの濁(にぎり)の内容は、重なる部分もありますが、五つとも濁りですから、真水も濁ると底が見えにくくなるように、本当のことが、ぼんやりして、見えていないのです。だから、五濁悪世から、脱出する道を自分の内や外に求めても見つかりません。さらに、聖人は、この五濁の私は、「群生海」、群がりながら底なしの海のように生きているといわれます。

「お年玉 すぐにあげない 帰るか」というのがありました。自分の見解を、先に立てて関わり合っているのは、大人も子どもも同じであって、それが、濁りと見えていないのが、わた

「命濁」は、命の汚れのことですが、

群生海として生きる者は、「本願海」(前月参照)に出遇う道しかありません。それで、「如来如実の言を信ずべし」と、釈尊の教えを私の事実と救いを正確にいいあてた「如実の言」・まことの言葉と信受し、南無阿弥陀仏の願心によれて、忘れていた本当の自分・人間を取り戻せといわれるのです。

山門の言葉



一番わかっているようで 一番わからぬこの自分

相田みつを

これは詩人・書家として数多くの作品を残された、相田みつをさんの言葉である。

実家に相田さんの詩集があり、小学生の頃から私もなんとなくよく見ていた。十数年経って、記憶の隅にあつたこの言葉が、あるきつかけで、気になりだした。

ある聞法会で、私が「お聖教の言葉は、知識として理解できるが、実際に自分の問題としてなかなか受け取ることができない」と言ったときのことである。その後席で、「じゃあどういふふうに理解しているのか、言ってみろ」と言われたが、何も答えることができなかった。

私が黙っていると、「それは理解しているとはいわない。ただ言葉を利用していただけで、わかつたつもりになつていただけだ」と叱られた。自分の中では、なんとなくわかっていると思つていたことが、実は全くはつきりしていなかった。そのことが見抜かれたのである。何も言い返せなかつたことが何よりの証拠であつた。

一体「わかる」とはどういうことな

のか。単純に解けなかつた問題が、解けたことだけではないはずである。

ある方が「わかつたなら、何がわかつたのか。わからないなら、何がわからないのかをはつきりさせることが大事だ」と言われたことがある。

今回の私の場合、わかつたつもりになつていた自分、その「つもり」に全く気づいていない自分が、予期せぬ形で知らされた。

わかつたつもりになつている自分は、自分では見えない。人を通してしか見えてこない。

表題の言葉は、人類の歴史の中でずっと問われてきた、人間の根本問題なのである。私に先立つて、人間とは何か、私とは何かを問いつづけた人々の言葉によって、初めて自分という存在が問われてくるのである。

「一番わからぬこの自分」という言葉は、人を通して自分に出遇われた驚きの言葉なのではないだろうか。

(蓮井 邦宗 記)

おつとめ

仏説無量寿経 ②

正宗分の冒頭に五十三仏の歴史が表され、釈尊よりも過去にたくさんのお釈迦(覚者)がおられたということが説かれています。

私たちが考える仏教といえば、釈迦一仏だと思われがちですが、仏の教えとは釈尊が遭遇された世界であり、目覚められた真理は、決して釈尊一人のものではありません。これは仏陀(覚者)が、釈尊一人にとどまるものではないことが示されています。

つまり、釈尊というのは一人飛び抜けた存在ということではなく、人類の歴史の中から見いだされた、如来の本願に目覚められた方なのです。それは釈尊に先立つて仏陀の道を歩まれた諸仏の説法を聞き、無上正真の意(菩提心)を發していかれた釈尊もまた、苦惱の人生の中に道を求めて行かれた人であることを意味しています。

(木村 專正 記)

掲示板

平成25年1月

元日(火) 午前6時 修正会
 10日(木) 午前10時 木村前住職 三回忌法要
 12日(土) 午後3時半 混声合唱団「エコー」練習
 13日(日) 午前11時 婦人会新年会
 19日(土) 午後1時半 定例聞法会

20日(日) 午後3時 評議員会新年会
 22日(火) 午後7時 仏教青年会『歎異抄』に聞く
 講師 宗 正元師
 23日(水) 午後3時半 総代会
 24日(木) 午後1時半 教行信証『信巻』に聞く(第84回)
 講師 宗 正元師
 26日(土) 午後3時半 混声合唱団「エコー」練習
 午後5時半 同行会新年会

えこお志お礼

ご浄財を頂戴いたしましてありがとうございます。
ご芳名の掲載をもってお礼とさせていただきます。

町田市 浄徳寺様

日誌

11月18日 城北ブロック会聞法会
(大塚・大和田 参加者18名)
 11月20日 仏教青年会報恩講
講師 玉出 宗順師
 11月22日 教行信証『信巻』に聞く(第83回)
講師 宗 正元師
 11月24日 混声合唱団「エコー」練習
同行会「正信偈の教え」に聞く
法話 蓮井 邦宗
 11月27日・28日 宗祖忌
 12月1日 混声合唱団「エコー」練習
 12月6日 東京教区研修会(西徳寺)
 12月7日・8日 中興忌
 12月8日 混声合唱団「エコー」練習
同行会「正信偈の教え」に聞く
法話 仲井 真裕

仏教青年会報恩講

去る11月20日に仏教青年会の報恩講が勤まりました。ご講師には大阪市・光福寺副住職であり、かつて西徳寺の法務員として活躍されました玉出宗順師をお招きして、「急ぐべきこと」という講題でお話をいただきました。玉出師にご縁の深かった方々が大勢参加され、大変賑やかな報恩講となりました。

次回の青年会は**1月22日(火)午後7時**より行います。どなたでもお気軽にご参加ください。



お墓のはなし 「月決め」

ご来寺の際は、本堂にて阿弥陀様に参りされてから墓参してください。本堂は葬儀・法事等で使用してない限り、いつでも焼香いただけます。

ところで、日頃からご家族で足を運んでいただきたいと思います。お引越して遠方になったり、またご高齢等の理由から来寺困難な方が増えております。

そんな中、「どうしてもお寺に行けないので、自宅の御仏壇で手を合わせます。でもやっぱりお墓が気になります。」という声をお聞きすることがあります。そこで西徳寺では月決めという制度

がございます。ご希望の日、ご希望の内容(線香・色花・しきみ)をお知らせ頂ければ、墓石を洗いお供えいたします。お代金は持参・現金書留、もしくはお振込みのいずれでも結構です。

お彼岸、お盆、祥月命日などの一回のみから、年間でのお申し込みも可能です。金額は(線香一対・二百円/色花一対・千五百円/しきみ一対・五百円)となります。なお、年末年始のみ色花は二千円となります。

初めての方については、必ずご来寺いただくか、お電話にてお申し込み下さい。

(山崎哲記)

平成25年 西徳寺のあゆみ

(予定を変更する場合があります)



1月

元旦(火) 修正会
10日(木) 木村前住職三回忌法要
12日(土) 合唱団エコー練習
13日(日) 婦人会新年会
19日(土) 定例聞法会
20日(日) 評議員会新年会
22日(火) 仏教青年会
23日(水) 総代会
24日(木) 教行信証『信巻』に聞く
26日(土) 同行会新年会・合唱団エコー練習

2月

2日(土) 合唱団エコー練習
10日(日) 城東ブロック会聞法会
16日(土) 合唱団エコー練習
20日(水) 婦人会聞法会
21日(木) 教行信証『信巻』に聞く
23日(土) 同行会
24日(日) 城南ブロック会聞法会
26日(火) 仏教青年会座談会

3月

2日(土) 評議員会定例役員会
合唱団エコー練習
3日(日) 城北ブロック会聞法会
7日(木) 総代会
9日(土) 同行会・合唱団エコー練習
12日(火) 仏教青年会レクレーション
13日(水) 婦人会聞法会
17日(日) ~23日(土) 春季彼岸会
22日(金) 聖徳太子奉讃会・本山特派布教
春季永代経法要
27日(水) 教行信証『信巻』に聞く
30日(土) 同行会修習式
31日(日) 中央ブロック会聞法会

4月

13日(土) 同行会
17日(水) 婦人会総会
20日(土) 定例聞法会
23日(火) 仏教青年会総会
27日(土) 同行会

5月

11日(土) 同行会
12日(日) 城西ブロック会総会
15日(水) 婦人会聞法会
18日(土) 定例聞法会
19日(日) 城南ブロック会総会
22日(水) 総代会
25日(土) 同行会
28日(火) 仏教青年会

6月

1日(土)・2日(日) 仏教青年会研修旅行
8日(土) 評議員会定例役員会・同行会
15日(土) 定例聞法会
16日(日) 城北ブロック会総会
19日(水) 婦人会聞法会
22日(土) 同行会
23日(日) 評議員会総会
30日(日) 城東ブロック会総会

7月

6日(土) 同行会
13日(土) ~16日(火) 孟蘭盆会
(10日よりお盆のお参りに伺います)
23日(火) 総代会
仏教青年会夏季ミーティング
31日(水) 婦人会聞法会

8月

13日(火) ~16日(金) 孟蘭盆会
25日(日) 青年会主催バーベキュー大会

9月

7日(土) 評議員会定例役員会
11日(水) 総代会
14日(土) 同行会
17日(火) 仏教青年会
18日(水) 婦人会聞法会
20日(金) ~26日(木) 秋季彼岸会
22日(日) 秋季永代経法要
28日(土) 定例聞法会

10月

12日(土) 同行会
13日(日) 中央ブロック会総会
16日(水) 婦人会聞法会
19日(土) 定例聞法会
20日(日) 城東ブロック会聞法会
22日(火) 仏教青年会座談会
26日(土) 同行会
27日(日) 城南ブロック会聞法会

11月

2日(土)・3日(日) 西徳寺報恩講
6日(水)・7日(木) 婦人会一泊旅行
9日(土) 同行会
10日(日) 城西ブロック会聞法会
13日(水) 総代会
16日(土) 定例聞法会
17日(日) 城北ブロック会聞法会
19日(火) 仏教青年会報恩講
23日(土) 同行会

12月

14日(土) 同行会
18日(水) 婦人会聞法会
21日(土) 定例聞法会
評議員会定例役員会
31日(火) 歳暮法要

◆城西ブロック会

城西ブロック会は中野区・杉並区・新宿区・渋谷区・都下の方々を中心に、**年2回**の聞法会を行っています。

11月11日、中野区商工会館におきまして、参加者13名のもと『正信偈』をもとに聞法会が開催されました。参加者から活発な質問が出され、大いに盛り上がりしました。

次回は**平成25年5月12日(日)**、場所は**中野区商工会館**にて総会・聞法会が執り行われます。皆様のご参加、お待ちしております。

◆城北ブロック会

城北ブロックは**年3回**、主に王子、大塚、川口の会場を借りて聞法会を開催しています。

去る11月18日、大塚「大和田」にて18名参加のもと、『正信偈』のテキストをもとに、参加者の方々と共に聴聞しました。

次回は**平成25年3月3日(日)**、**王子北とびあ**におきまして聞法会を開催します。どなたでもお気軽にご参加ください。



編集後記

先日、お通夜の最中に地震が発生しました。東京の震度はそれほど大きなものではありませんでしたが、下から突き上げのような強い揺れに、会葬者の方々が一瞬、恐怖におののいておられました。

お通夜が既に開式されていたことから、私は平然を装って読経を続けていました。地震にも動じない素振りでいましたが内心は穏やかではなく、すぐに逃げ出す覚悟で身構えていました。はからずも私の虚栄心が露わになった恥ずかしい一幕でした。
(主任 木村 記)

西徳寺ホームページアドレス：<http://saitokuji.tobihiro.jp/>